



## 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月6日

上場会社名 天昇電気工業株式会社  
 コード番号 6776 URL <http://www.tensho-plastic.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 安藤 武彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 横山 彰  
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 042-788-1880

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	3,511	5.5	△179	—	△239	—	△224	—
24年3月期第1四半期	3,326	△35.7	△150	—	△181	—	△133	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 10百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 △62百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△14.17	—
24年3月期第1四半期	△8.12	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	17,004	2,505	12.2
24年3月期	16,616	2,486	13.0

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 2,078百万円 24年3月期 2,152百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,000	△3.2	50	—	△20	—	△10	—	△0.63
通期	15,300	0.4	250	620.0	100	—	50	—	3.15

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.3「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P.3「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	17,014,000 株	24年3月期	17,014,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期1Q	1,140,434 株	24年3月期	1,139,814 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	15,874,008 株	24年3月期1Q	16,473,536 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、本資料の発表日において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	P2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	P2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	P2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	P3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	P3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	P3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	P3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	P3
3. 四半期連結財務諸表 .....	P4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	P4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	P6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	P6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	P7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	P8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	P8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興対策等による一定の効果はあったものの、財政金融不安による欧州政府債務問題による世界経済の停滞、それを背景とした円高・株安が進むなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは、売上高の確保に注力するとともに、経費の徹底的な削減を強力に推進いたしました。しかし、当社の主要取引先でありました家電業界は、前期中盤からの円高等により生産拠点の海外移転が進み、非常に厳しい状況が続いております。

一方、今後の主力事業先であります自動車業界は、大震災からの復興の進展やエコカー補助金制度等により回復基調にあります。また、医療機器部品、照明部品、事務機部品等、新規取引先の開拓を積極的に展開いたしました。

しかし、薄型TV部品から自動車部品への業態切替に伴い、生産現場での研修、納入形態の確立等の経費が想定以上に発生しております。

その結果、売上高は35億11百万円（前年同四半期比5.5%増）となりました。損益面では、営業損失1億79百万円（前年同四半期は1億50百万円の損失）、経常損失2億39百万円（前年同四半期は1億81百万円の損失）、四半期純損失2億24百万円（前年同四半期は1億33百万円の損失）となりました。

セグメントごとの状況は、以下のとおりであります。

## 日本成形関連事業

事業の中心を薄型TV部品から自動車部品へ業態切替途上ではありますが、当第1四半期連結累計期間においては、薄型TV部品の落込みをカバーできませんでした。一方震災復興事業向けに産業資材は動き始めております。

売上高は29億75百万円（前年同四半期比6.7%増）、営業損失2億13百万円（前年同四半期は1億50百万円の損失）となりました。

## 中国成形関連事業

中国国内では、価格競争の激化により、売上高の減少が続いております。

売上高は48百万円（前年同期比64.8%減）、営業損失25百万円（前年同四半期は19百万円の損失）となりました。

## ポーランド成形関連事業

薄型TV部品の売上高が好調に推移いたしました。

売上高は4億24百万円（前年同期比28.6%増）、営業利益3百万円（前年同四半期は36百万円の損失）となりました。

## 不動産関連事業

国内3拠点の賃貸物件から構成されており、売上高は前年同四半期と同水準の75百万円となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ①資産

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、170億4百万円（前連結会計年度末比3億87百万円増）となりました。

流動資産は、現金及び預金が31億円（前連結会計年度末比7億99百万円増）となった一方、受取手形及び売掛金が33億9百万円（前連結会計年度末比3億53百万円減）となったこと等により、77億53百万円（前連結会計年度末比2億93百万円増）となりました。

固定資産は、生産設備投資及び減価償却実施等により、92億51百万円（前連結会計年度末比94百万円増）となりました。

## ②負債

負債合計は、144億98百万円（前連結会計年度末比3億68百万円増）となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金が32億91百万円（前連結会計年度末比2億15百万円減）、借入金34億68百万円（前連結会計年度末比1億23百万円減）等により、83億66百万円（前連結会計年度末比1億95百万円減）となりました。

固定負債は、借入金50億99百万円（前連結会計年度末比6億84百万円増）等により61億32百万円（前連結会計年度末比5億64百万円増）となりました。

## ③純資産

純資産合計は、四半期純損失計上及び為替換算調整勘定の変動等により、25億5百万円（前連結会計年度末比19百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績につきましては、平成24年5月15日に公表いたしました業績予想に修正はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合は、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,301	3,100
受取手形及び売掛金	3,662	3,309
製品	251	328
原材料	508	474
仕掛品	84	60
その他	651	479
流動資産合計	7,459	7,753
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,641	3,775
土地	2,376	2,387
その他(純額)	2,088	2,167
有形固定資産合計	8,106	8,330
無形固定資産	28	27
投資その他の資産		
その他	1,049	921
貸倒引当金	△28	△28
投資その他の資産合計	1,021	893
固定資産合計	9,157	9,251
資産合計	16,616	17,004
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,506	3,291
短期借入金	858	832
1年内返済予定の長期借入金	2,733	2,635
未払法人税等	—	7
賞与引当金	50	117
その他	1,414	1,482
流動負債合計	8,562	8,366
固定負債		
長期借入金	4,415	5,099
資産除去債務	42	42
その他	1,110	990
固定負債合計	5,568	6,132
負債合計	14,130	14,498

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,208	1,208
資本剰余金	897	897
利益剰余金	746	521
自己株式	△116	△116
株主資本合計	2,736	2,511
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2	△30
為替換算調整勘定	△580	△403
その他の包括利益累計額合計	△583	△433
新株予約権	26	35
少数株主持分	306	392
純資産合計	2,486	2,505
負債純資産合計	16,616	17,004

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	3,326	3,511
売上原価	2,957	3,146
売上総利益	368	364
販売費及び一般管理費	519	544
営業損失(△)	△150	△179
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	2	2
助成金収入	10	4
その他	24	11
営業外収益合計	40	21
営業外費用		
支払利息	54	52
為替差損	—	12
持分法による投資損失	10	1
その他	4	14
営業外費用合計	70	80
経常損失(△)	△181	△239
特別利益		
投資有価証券売却益	2	37
特別利益合計	2	37
特別損失		
固定資産除却損	—	0
投資有価証券売却損	3	5
災害損失	16	—
特別損失合計	19	5
税金等調整前四半期純損失(△)	△198	△207
法人税等	△50	8
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△148	△216
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△14	8
四半期純損失(△)	△133	△224



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△148	△216
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7	△27
為替換算調整勘定	86	237
持分法適用会社に対する持分相当額	6	16
その他の包括利益合計	85	226
四半期包括利益	△62	10
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△76	△74
少数株主に係る四半期包括利益	14	85

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。